

ギシギシ (ぎしぎし)

名前の意味^{いみ}：ぎしぎしは、茎をしごいた時の音^{あらわ}を表している。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

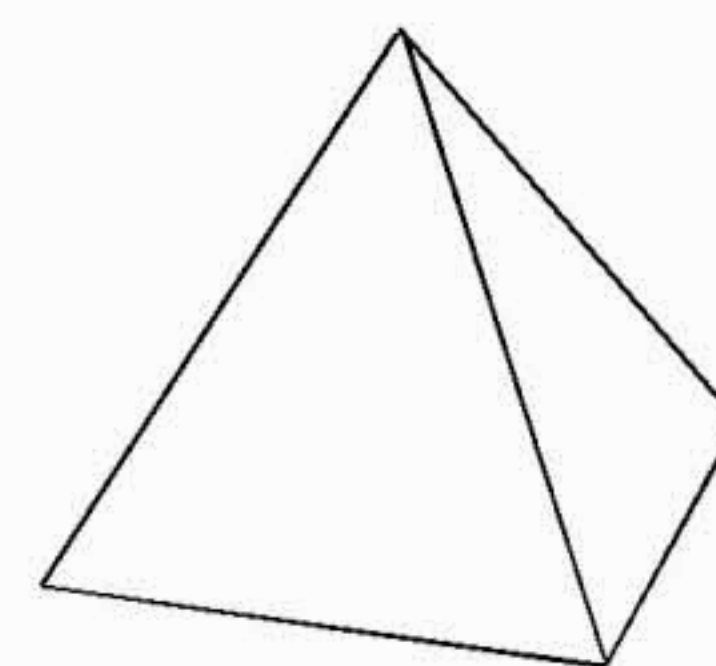
(タデ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：葉の付け根にさやのある頑丈^{がんじょう}な茎^{くき}、小さな
緑色の花、三角錐^{さんかくすい}の実。



さんかくすい
三角錐

種子の運ばれかた：動物の毛皮について運ばれる

花弁の数^{りべん}：離弁、6裂^{れつ} (果実の時は3裂^{れつ}にみえる)

花の時期：6 - 8月

食べ方：食べられない

見分け方：アレチギシギシとは、茎^{くき}が太くてみずみずしいこと、枝分^{えだわ}
かれが少ないことで区別できる。スイバとは、葉が矢尻状^{やじり}でな
いこと、雄雌^{おすめす}の区別がないことで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)